

○事業所名	WakuWakuあゆみ			
○保護者評価実施期間	2025年1月14日		～	2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		～	2025年1月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月12日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様なプログラムを提供し、子どもが楽しく色々な経験をできるようにしている。	曜日別に運動・食育・創作・音楽・お出かけ・お楽しみとプログラムを設定している。その中でも曜日担当職員を中心にチームで色々な内容を考え、子どもが飽きずに過去の経験を生かして取り組めるようにしている。	地域にある資源や人材を活用し、職員だけではできない事も色々な人の協力を得ながら子ども達が経験できるようにしていく。
2	安全で安心できる活動スペースが確保されている。	広い活動部屋があり、2部屋に分ける事もでき、活動内容や子どもの状況に応じて使い分けている。個室も2部屋用意し、しんどくなった時や集中して何かに取り組みたい時に静かに過ごせるようにしている。安全にも配慮し、定期的に点検している。	活動の中で環境面で使用しにくい事や危険に思われる事があれば、都度すぐに配置や補強・補修をし改善する。パーテーションを2枚用意しているが、環境設定として追加を検討する。
3	保護者と子どもの状況を伝え合ったり相談したりする等、よく意思疎通をとれている。	引継ぎの際に丁寧に子どもの様子を伝えるように心がけている。利用報告書でも客観的事実をしっかりと様子が変わるように入力してお渡ししている。お忙しくてあまり直接話せない保護者とも、必要に応じてメールやSNS等も活用し、報告・連絡を丁寧にしている。	面談をあまり行っていないので、必要に応じて実施し、保護者がより安心して話したり相談したりできるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の機関との情報共有や連携があまりできていない。	担当者会議等に参加したり他の機関から働きかけがあった際は快く情報共有したりしているが、日々の業務に追われる中で他の機関への積極的な働きかけはあまりできていない。	必要な情報共有ができるよう計画的に取り組んでいく。業務を整理し、他の機関とどういった連携が必要かを検討する。
2	防犯マニュアル等の整備が不十分。	都度必要なマニュアルは作成してきたが、防犯に関してはこれまで切迫性がなく、対応を話し合った事はあったがマニュアル作成にまで至っていなかった。また、防災や感染症対策等も保護者に必要と思われる情報は都度伝えてきたが、マニュアルという形での開示までは行っていない。	情報を集めて防犯マニュアルを作成する。他のマニュアルも順次開示する方法を検討する。
3	地域の他の子どもとの交流の機会が少なく、保護者への周知もできていない。	一度だけ地域の中学校との収穫体験交流を行ったが、臨時で日程も定まらなかった為、参加する子どもの保護者へ直前に周知するに留まった。交流自体も部分的なものになった。	十分に交流を持てるよう活動内容や方法も工夫する。交流の機会を増やし、また計画的に行って事前に周知し、お便り等でしっかり報告する。